

①みんなで育む『人づくり』

◎待機児童解消対策事業費 2,925 千円

本市に居住し、市内の保育所などに新たに勤める保育士に対して家賃の一部助成を行います。保育士の処遇を改善することで、待機児童の解消に必要な保育士を確保します。

◎小学校教室用エアコン整備事業費 34,373 千円

安全で快適な教育環境の向上のため、小学校 10 校の教室にエアコンを設置するための設計を行います。平成 31 年度から設置を行う予定です。

◎英語検定チャレンジ事業費 3,587 千円

平成 27 年度から、中学 1 年生の全生徒の英語検定料 5 級相当を助成する事業を実施しています。さらに 3 年生まで対象を拡充し、英語力の向上を目指します。

②みんなで築く『安心づくり』

◎地域の拠点づくり事業費 10,774 千円

地域活動の拠点となる施設を旧三小運動場に設置します。事務所や会議室として利用できる設備を整備し、万田中央地区協議会を中心とした活動を支援します。

◎複合検診事業費（ピロリ菌検査） 2,240 千円

ピロリ菌感染は、胃がんの危険因子とされ、国内の研究ではピロリ菌陽性者は、陰性者比べてその後発生する胃がんのリスクが 5 倍以上であることが示されています。複合検診の胃がん検診受診者のうち希望者に対して、初回のみ自己負担なしでピロリ菌検査を実施します。陽性者は、除菌することにより、胃がんの発症を抑えることができます。

荒尾市の取り組みとお金の使い方



平成 30 年度 当初予算 (一般会計)

213 億 7 百万円

[前年比 6 億 6 千 6 百万円 (3.5%) の増]

「あらお未来プロジェクト」 ますます加速しています!



③みんなで挑戦『夢づくり』

◎奨学金返済わか者就労支援事業費 2,524 千円

奨学金を活用して大学等を卒業後、市内に居住し、かつ、市内の事業所等に就職した「わか者」の奨学金返済に係る費用の一部を補助（年間 20 万円を上限に最大 3 年間）することで、若年層の市外流出を抑制するとともに、市外からの流入を促し、地元雇用の促進により活力ある荒尾を目指します。

◎南荒尾駅前広場駐輪場整備費 3,000 千円

平成 31 年度に荒尾干潟水鳥・湿地センター（仮称）が設置され、駅利用者の増加も見込まれることから、駅前広場の駐輪場整備とロータリー改修を行い、駅利用者の利便性向上を図ります。



④みんなで創る『街づくり』

◎南新地土地区画整理事業特別会計 1,110,685 千円

有明海沿岸道路の IC 設置が予定されている競馬場跡地とその周辺で、土地区画整理事業による土地の整理と公共施設の整備を行い、本市の再生拠点としての基盤整備を図ります。平成 30 年度は、雨水の流末となる水路や調整池等の工事や建築物の移転補償等を行い、早期の宅地整備と都市機能誘導を目指します。

◎花のみちプロジェクト事業・植樹帯整備費 12,031 千円

本市の主要幹線道路の一つである増永緑ヶ丘線の、本村交差点からシティモール公園までの道路沿線（約 2.2 km）の植樹帯（約 1.2 km）に、団体、学校、地域住民の参加を得て官民が協働で花のみちを創り上げます。



「あらお未来プロジェクト」

市では、昨年から取り組んでいる「あらお未来プロジェクト」をさらに発展させるため、「新・第 5 次荒尾市総合計画」の改定を行い、「あらお未来プロジェクト」を再編した 4 つの戦略方針を定めました。一つ目は、子どもへの投資を強化する「みんなで育む『人づくり』」。二つ目は、健康・長寿の暮らしと誰もが活躍できる社会を目指す「みんなで築く『安心づくり』」。三つ目は、安定した雇用の創出や経済の活性化を図る「みんなで挑戦『夢づくり』」。四つ目は、未来志向の都市モデルを再構築する「みんなで創る『街づくり』」です。平成 30 年度の予算は、この戦略方針に基づいて編成しました。新たなまちづくりを目指し、「あらお未来プロジェクト」に沿った施策を積極的に推進していきます。

